

2011年4月より、 小学校で 新聞を教材の 一つとして 採用されます。



子どもの思考力や判断力、表現力などの“生きるチカラ”を伸ばすために、
家庭でも新聞を取り入れた教育を始めませんか。



北海道新聞の
購読は
こちらから

Webより

道新

検索

www.hokkaido-np.co.jp/cont/koudoku/
ホームページでのご購読申し込みでQuoカード500円分プレゼント!

お電話より

☎0120-464-104 (北海道内からの発信のみ)

※受け付け時間は平日8時30分～20時30分、土・日・祝日9時30分～17時30分です。



携帯からお申込み

FAXでお申し込みはされる方は裏面をご覧ください

Q. 学習指導要領が変わると、
具体的に何が変わるの？

A. 例えば、これまでの国語は、文学作品で「読解力」を養う教育が中心でしたが、今後は情報を理解し、意見を論理的に述べる「実用的言語能力」をのばす教育も重視されます。

Q. 新聞を教材の一つに
すると、何が身に付くの？

A. 新聞を読んでその情報を人に伝えることで、社会性が身に付きます。さらに、新聞の構成などから、意見を明確に且つ論理的に書く力も身に付けることができます。

“生きるチカラ”を 育む、新しい 学習指導要領とは？

家庭では、
Q. どのようなことから
始めればいいのか？

A. 小学校の低学年などの小さい子どもには、動物や植物などの写真を見せたり、切り抜きをさせるなど、まずは新聞に親しむ機会を作ってあげることから始めてみましょう。

なかなか家庭では
Q. 長続きしなさそう…。
何かいい方法は？

A. 天気やスポーツなど子どもが興味を持ちやすい記事や、子どもが興味を持った記事について、家族みんなで話し合ってみたりするというのもお勧めです。

北海道新聞購読お申し込み用紙

FAX番号 0120-464-223 (通話料無料)

【お名前】 フリガナ

【配達開始希望日】

年 月 日

【ご住所】 〒 -

【電話番号】 - -

※個人情報の取扱について

- お客様をご記入いただいた個人情報は、該当する北海道新聞販売所連絡し、ご購入の確認に利用させていただきます。その後は販売所で適切に管理いたします。
- 北海道新聞社は、お客様からお預かりした内容を販売所への連絡管理のため、一時保管させていただきます。
- 連絡確認後、情報は廃棄いたします。

F A X 送信方向